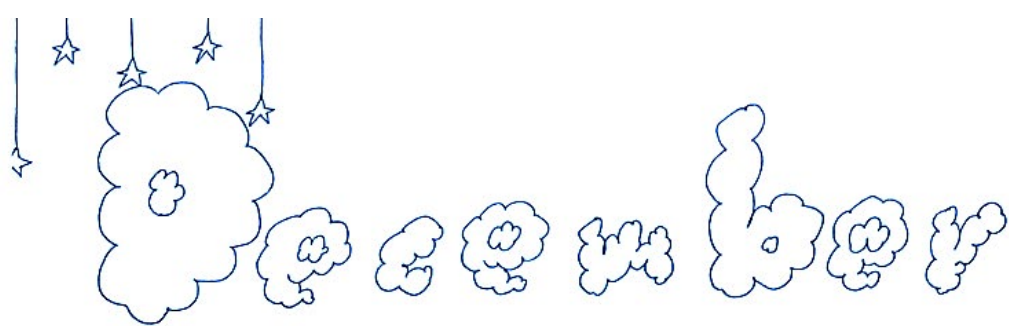


とよ・たち美肌通信

☆12月号 VOL. 149☆



♡まゆり♡



今月号のとちたち美肌通信の表紙は
大きな大きなゆきだるまも、キラキラ星が光る
クリスマスツリーで楽しいクリスマスの絵であ♡
歌とダンスをする事が趣味で、

お家で飼っている4匹のネコちゃんとおそぶ事が
大好き！走る事が得意で、運動会も
1等賞だった女の子が描いてくださいました。
ありがとうございます！

院長はじめスタッフ一同

バリエリ感謝
いたしまあ！



外国人から見た時、日本人は衛生観念が高いとよく指摘されることがある。例えばスポーツの国際大会において、試合終了後にゴミ捨いをしている姿が世界から賞賛されたり、別の話では留学で海外に住みつけた日本人が家の周辺を清掃している姿を毎日目にしていううちに、周辺住民が一緒に清掃する様になり町じゅうが清潔になっていったという事実もある様だ。

これら日本人の衛生観念はどこから生まれたのだろうか。

前述した2つの例だけでなく、日本人の食事に対する考え方(食事をとる方法・食事の仕方)からも、それがかいまみることが出来る様だ。

現代日本人の食文化の一つに『金鍋文化』と呼ばれるものがある。しかしながらこの、一つの金鍋の中の食材を皆でつっけて食するというこの食方法は、明治以降外国から入ってきた様式と言われている。それまでのつまり江戸時代以前の日本人の食事文化というものは、料亭や家庭に問わず、各人に一つずつ膳が与えられその膳の上に一汁一菜又はフラス小皿にもう一品程度のおかずが盛られた

ものであった。自分の膳を他の人が食べる事も、
その逆もなかったとされる。このような食事形態は
疫病対策が根柢にあったのだ」と言われている。

皆様は ^{ちぶすば} 手水場 というものを御存事であるか。
手水場とは料理屋等の玄関先にある手や足を洗う
場所のことを言う。手水場は手を洗う高士の位置
から水が出て、その足元に水を受ける器があり、
そこで手と足を洗ってから料理屋に入店するとい
う習慣であった様です。江戸時代以前という
時代背景を考慮しても、何と行き届いた衛生
習慣(衛生管理)であったことか。

コロナ禍における現在に 通ずるルーティーンと
細菌やウイルスの存在概念が全くない時代にお
いても我が国日本においては、世界に先駆けて
行っていたという事実は何と誇らしいことだらう
か。

隈長, 掬